

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

復習シート 第二学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【接頭語の正しい使い方を問う問題】

1 次の文の□に当てはまる漢字を、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

その若きピアニストは、□凡な音楽のセンスで聴衆を圧倒した。

ア 不 イ 無 ウ 非 エ 未

非凡（ひぼん）と読み、「平凡ではない」という意味を表します。

ウ

レベル5

【体言・用言の理解を問う問題】

2 次の文の中から、体言をすべて選びなさい。

川辺の道に静かな風が吹いた。

川 辺 道 風

「体言」とは、単語の中で、自立語で活用がなく、「主語」になれるもののことをいいます。

レベル11

【慣用句の正しい使い方を問う問題】

3 次の文の□に当てはまる言葉を、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

① 友達の成功を聞いて、思わず□が熱くなった

ア 目 イ 胸 ウ 肩 エ 頭

「胸が熱くなる」とは、感動やうれしさで心がいつぱいになることを表す慣用句です。

イ

レベル9

② この作業は時間も手間もかかり、とても□が折れる仕事だった。

ア 歯 イ 腰 ウ 腕 エ 骨

「骨が折れる」とは、手間や時間、努力が必要で、非常に苦労することを表す慣用句です。

エ

【熟語の構成の理解を問う問題】

4 次の熟語と同じ構成（成り立ち）になっている熟語を、ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

① 希望

ア 左右 イ 温暖 ウ 出席 エ 初期

「希望」は似た意味の漢字の組み合わせです。「着席」は「席に着く」のように下の字が上の字の目的になっています。

イ

レベル9

② 着席

ア 本棚 イ 強弱 ウ 変化 エ 蓄電

「希望」は似た意味の漢字の組み合わせです。「着席」は「席に着く」のように下の字が上の字の目的になっています。

エ

復習シート 第二学年 国語



組	番号	名前	模範解答
---	----	----	------

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

1 次の問題を解きなさい。

佐藤さんのクラスでは「中学二年生になって」というテーマでスピーチをすることになりました。そこで、同じ部活動の先輩である石川さんにインタビューをして原稿づくりの参考にしようとしています。次の【インタビューの様子】と【スピーチ原稿】を読んであとの問いに答えなさい。

【インタビューの様子】

佐藤 僕の目標は「部活と勉強の両立」なのですが、石川先輩が工夫していることがあれば教えてくださいませんか。

石川 僕も「部活と勉強を両立させたい」というのが中二のときの目標だったよ。だから、まずは朝起きてからと、学校から帰ってからの三十分ずつを必ず勉強する時間にしました。

そんなに短い時間だけで両立ができるのですか。

佐藤 確かに時間は足りていないかもしれないね。でも、それまでは家庭学習がほとんどできていなかったから、これならできると思った三十分間から始めてみたんだよ。そうしたら、今では帰ってから一時間から二時間は勉強できるようになってきたんだ。他には、家に帰ってすぐにスマートフォンを開くのをやめるようにしたよ。

部活の方はどんな工夫をしたのですか。

佐藤 毎回の練習を大事にしようっていうことかな。その日特に意識したいことを考えてから練習するようにしたよ。それから、風呂上がりのストレッチを毎日やることと、練習が休みの日は自主練習をすることかな。

佐藤

【スピーチ原稿】

皆さんは、去年を振り返ったときに後悔していることはありますか。



僕は「部活と勉強の両立」ができなかったので、これを目標にして一年間がんばることに決めました。けれども、具体策が思い浮かばなかったなので、同じ部活の先輩にインタビューをしました。そのなかで一番参考になったのが、

宅後の三十分ずつ勉強することにしたそうです。（後略）

（1） インタビューの で、佐藤さんはどんな質問をすればより内容が深まってい
くと思いますか。 適切でないもの を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

レベル 8

- ア 休みの日の自主練習では、どんなメニューに取り組みましたか。
- イ 毎日の練習で意識したことは、例えばどんなことですか。
- ウ 特に効果的だった工夫はどれですか。
- エ 中三になった今の目標はなんですか。

ア～ウの質問は、相手が話した内容を引用して質問しているので、話しても
らった内容を深めることができます。一方、答えであるエの質問は、話題を広
げる質問となります。エの内容について質問したい場合は、ア～ウの質問で話
の内容を深めた後に質問するのが適切だと思います。

エ

（2） 佐藤さんはスピーチ原稿を確認しながら、実際にスピーチをするときにどんな表
現の工夫ができるか考えています。★印のところでは、どんな工夫をすればより
聞き手にしっかりと話を聞いてもらえると思いますか。そのために最も効果の高い
と思われる工夫を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

レベル 6

- ア 聞き手の顔を見回して、聞き手の反応を見る。
- イ 発表時間内に収まるか、時計を確認する。
- ウ 次に話す内容を間違えないように原稿を見る。
- エ 和やかな雰囲気になるように笑顔になる。

★印のタイミングで最も効果的な工夫は、アです。聞き手の反応を見るこ
とで、一方的な発表にならず、対話をしているような印象を強めることができ
ます。そのため、聞き手がより自分事として発表内容を捉えるように促すこと
ができます。

ア

（3） 【インタビューの様子】の 線部を参考にして、【スピーチ原稿】の
 に書く内容として適切な言葉を書きなさい。

レベル 10

できることから始めてみる

という姿勢です。

解答欄 の後にある「姿勢」という言葉や、具体例が続いていること
を参考にして書きましょう。

復習シート 第二学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【「書くこと」を問う問題】

1 次の問題を解きなさい。

山田さんは、地域の方に向けて体育祭の案内文の下書きを作成しました。書き終えた後に、文章を見直し、伝えたいことが適切に書き表されているかどうか検討しようとしています。【案内文の下書き】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【案内文の下書き】

令和8年5月2日

地域の皆様へ

コバトン中学校体育祭実行委員会

第51回コバトン中学校 体育祭開催のお知らせ

A

今年も本校では下記の日程で体育祭を開催いたします。本番に向けて、どのクラスも一生懸命練習に励んでいます。若葉の緑がまぶしい季節になりました。地域の皆様には、日頃より温かい応援をいただきありがとうございます。生徒一同の願いは、地域の皆様に私たちの全力の姿を見てください。

記

- 日時 令和8年5月23日（土） ※雨天順延（翌24日）
 - ・開場：8：30
 - ・開始：9：00
 - ・終了：14：00頃
- 場所 コバトン中学校グラウンド
- 主なプログラム
 - ・午前の部（9：00～）「台風の目」「ムカデ競争」等
 - ・午後の部（12：45～）「応援合戦」「大縄」「全員リレー」等
- お願い
 - ・駐車場はありませんので、徒歩または自転車でお越しください。

以上

（1）Aの部分の文章を自然な流れにするにはどのように並べ替えるのがよいですか。
最も適切な順番を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 開催の報告 ↓ 季節の挨拶 ↓ 日頃の感謝 ↓ 練習の様子 ↓ 呼びかけ
イ 季節の挨拶 ↓ 日頃の感謝 ↓ 開催の報告 ↓ 練習の様子 ↓ 呼びかけ
ウ 呼びかけ ↓ 開催の報告 ↓ 季節の挨拶 ↓ 練習の様子 ↓ 日頃の感謝
エ 季節の挨拶 ↓ 開催の報告 ↓ 練習の様子 ↓ 呼びかけ ↓ 日頃の感謝

レベル7

手紙や案内文の基本は「挨拶や日頃の感謝」から入り、「現状（報告）」を伝え、「結び（願い）」で終わります。下書きのように、いきなり用件から始め、途中で挨拶を入れると、内容がとてわかりにくく、伝えたい内容を伝えることができません。

イ

（2）見てください について、適切な表現となるように正しく書き直しなさい。

レベル11

見てください ↓
（例）見てもらうことです・見ていただくことです

下書きのように「願いは、～してください」となると、願いそのものが「命令」のような形となり、文章がねじれてしまいます。主語が「願いは」なので、「～ことです」と結ぶのが正しい形です。また、「見ていただくことです」とすると、自分たちがへりくだって相手を敬う表現になり、来場をより歓迎する丁寧な気持ち伝わるようになります。

（3）「地域の皆さんに快く応援してもらおう」という目的に沿って案内文を書くとき、「4. お願い」の項目に付け加えた方がよい内容はどれですか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

レベル10

- ア 当日の競技で使う道具の予算や、購入先のリスト。
イ 練習中に生徒同士で起きた、失敗談やエピソード。
ウ 競技中の放送やピストルの音などで、ご迷惑をおかけすることへのおわび。
エ 学校の校舎内にある、普段は立ち入り禁止の教室の案内。

文章を書く時は、「その情報を伝えることで、読み手（ここでは地域の方）がどう感じるか」を想像することが大切です。体育祭当日、地域の方が来校する際に知っておくべき、「配慮」や「必要な案内」に当てはまるものを選びます。

ウ

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

復習シート 第二学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【「読むこと」を問う問題】

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ここまでのあらすじ

杜子春は裕福な家に生まれながら財産を使い果たし、行き場もなく絶望していた。
※1らくよう夕暮れの洛陽で途方に暮れる彼の前に片目の老人が現れ、影の下を掘れば黄金が見つかるかと告げる。不思議な出会いが、彼の運命を大きく動かし始める。

杜子春は一日の内に、洛陽の都でもただ一人という大金持ちになりました。あの老人の言葉通り、夕日に影を映して見て、その頭に当る所を、夜中にそつと掘って見たら、大きな車にも余る位、黄金が一山出て来たのです。

大金持ちになった杜子春は、すぐに立派な家を買って、玄宗皇帝にも負けない位、
※2げんそう贅沢な暮らしを始めました。※3らんりやう蘭陵の酒を買わせるやら、※4けいしゅう※5りゅうがんにく桂州の竜眼肉をとりよせるやら、日に四度色の変る牡丹を庭に植えさせるやら、白孔雀を何羽も放し飼いにするやら、玉を集めるやら、※6こうぼく錦を縫わせるやら、※7あら香木の車を造らせるやら、象牙の椅子を誂えるやら、その贅沢を一々書いていては、いつになってもこの話がおしまいにならない位です。

するとこういう噂を聞いて、今までは路で行き合っても、挨拶さえしなかった友だちなどが、朝夕遊びにやって来ました。※8さいしそれも一日毎に数が増して、半年ばかり経つ内には、洛陽の都に名を知られた才子や美人が多い中で、杜子春の家へ来ないものは、一人もない位になってしまったのです。杜子春はこの御客たちを相手に、毎日酒盛りを開きました。その酒盛りの又盛なことは、中々口には尽されません。※9てんじく極かいつまんだだけをお話しても、杜子春が金の杯に西洋から来た葡萄酒を汲んで、※10天竺生れの魔法使が刀を呑んで見せる芸に見とれていると、そのまわりには二十人の女たちが、※11めづ十人は翡翠の蓮の花を、※12めづ十人は瑪瑙の牡丹の花を、いずれも髪に飾りながら、笛や琴を節面白く奏しているという景色なのです。

しかしいくら大金持でも、御金には際限がありますから、さすがに贅沢家の杜子春も、一年二年と経つ内には、だんだん貧乏びんぼうになり出しました。そうすると人間は薄情なもので、昨日までは毎日来た友だちも、今日は門の前を通つてさえ、挨拶一つして行きません。ましてとうとう三年目の春、又杜子春が以前の通り、一文無しになつて見ると、広い洛陽の都の中にも、彼に宿を貸そうという家は、一軒もなくなつてしまいました。いや、宿を貸すどころか、今では腕わんに一杯の水も、恵んでくれるものはないのです。

（芥川龍之介『杜子春』による）

- ※1 洛陽…中国にある歴史的な都市 ※2 玄宗皇帝…中国の第六代皇帝
- ※3 蘭陵…中国の都市 ※4 佳州…中国の州
- ※5 竜眼肉…様々な効能をもつ生薬 ※6 香木…独特な香りを放つ木材
- ※7 詭える…依頼してものをつくらせること ※8 才子…頭の働きのすばやい人
- ※9 天竺…インド ※10 翡翠…宝石のこと ※11 瑪瑙…鉱物の一種

（1）「すると」から始まる段落で、杜子春の家で行われる豪華な酒盛りの様子がくわしく描かれています。どのような効果があると考えられますか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

レベル9

- ア 杜子春が食べ物や音楽、芸事などにくわしいことを示すため。
- イ 杜子春が大金持ちのときと、その後との違いを際立たせるため。
- ウ 当時の文化を詳しく紹介することで、読み手の理解をうながすため。
- エ 杜子春が将来多くの富を手にし、大成功を収めることを暗示するため。

イ

答えは「イ」です。豪華でにぎやかな場面をしっかりと描くことで、後の「誰も来ない孤独な状態」とのギャップが大きくなり、変化をわかりやすくしています。

物語の対比を際立たせるための表現の工夫です。

豪華な酒盛りⅡにぎやか・楽しい・人に囲まれている

その後の場面Ⅲさびしい・苦しい・誰もいない

酒盛りの様子を細かく描くことで、「あんなに人がいて、あんなににぎやかだったのに」「今は誰もいない。水一杯もくれない」という落差が、読み手の心に強く残るようになっていきます。

(2) —線部 昨日までは毎日来た友だちも、今日は門の前を通ってさえ、挨拶一つして行きません。とありますが、このときの杜子春の気持ちとして、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

レベル7

- ア もう一度お金持ちになれると信じて、わくわくしていた。
- イ お金がなくなっても特に気にせず、自由になれてうれしかった。
- ウ 離れていった友だちが戻ってくるまで、気楽に待とうと思っていた。
- エ 友だちが離れていき、自分だけが取り残されたように感じていた。

エ

答えは「エ」です。本文では、杜子春が贅沢な暮らしを続けた結果、「三年目の春には、もとのように一文無しになる」「椀に一杯の水も、恵んでくれるものはない」と描かれています。また、お金があったときには大勢の人に囲まれていたのに、お金がなくなると、だれも助けてくれない・声もかけてくれないという「急な変化」の中に、杜子春は一人取り残されています。このことから、さびしさ・むなしさ・不安・取り残された気持ちを感じていたと考えられます。

(3) 杜子春のもとを訪ねていた友人たちの心情と行動の変化を次のようにまとめました。空欄 A・B にあてはまる組み合わせを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

レベル7

○杜子春が大金持ちのとき、友人たちは一緒にいれば A と思って集まっていたが、お金がなくなると関わる B と感じ、冷たく離れていった。

- ア A―得をする B―必要がある
- イ A―得をする B―必要がない
- ウ A―損をする B―必要がある
- エ A―損をする B―必要がない

イ

答えは「イ」です。

友人たちの行動から推測すると、友人たちの心情は次のようにたどれます。

大金持ちのとき

- 「近づけばごちそうになれる」
- 「有名な人の家に入入りできて自慢になる」
- 「お金持ちの知り合いがいれば、自分にも得がある」
- ↓つまり、「一緒にいれば得をする」という気持ち。

貧しくなったとき

- 「もうごちそうもないし、楽しみもない」
- 「助けても見返りはない」
- 「関わる必要はない」
- ↓つまり、「関わる必要がない」という気持ち。

☆記述で押さえたポイント

- ① お金があるときは近づこうとしていた（好意ではなく「得」のため）
- ② お金がなくなると離れていった（もう得がないから／関心を失ったから）